

## 2025 年度「牛乳食育研修会」実施要領

### 1. 主催

一般社団法人 J ミルク(以下「J ミルク」)

### 2. 後援

文部科学省、東京都教育委員会、他（調整中）

### 3. 協力

(公社) 全国学校栄養士協議会

### 4. 目的

我が国は、超高齢社会の到来とともに「健康寿命の延伸」や国連の「持続可能な開発目標の達成」などの社会的課題が顕在化しているなかで、日本社会の将来を担う児童・生徒が望ましい食習慣や生涯を通しての健康的な暮らしを実現するために、主体的に食を学び、食を正しく判断・選択するための基礎的な知識習得と活用するための能力や態度の形成が必要となってきた。

そこで、学校教育活動の一環である「学校給食」を中心とし、学校での食に関する指導の中核を担う栄養教諭・学校栄養職員は、今後、食に係るあらゆる情報を網羅的に理解し、校内における教職員間の連携を推進していくことが必要となってきた。

現状の食育授業は知識投下型も多く、児童は「何を知っているか」とどまりがちであり、知っていることを活用して「何ができるようになるか」にまで発展していない状況も見受けられる。

本研修会では、栄養教諭・学校栄養職員を中心に一般教職員も含め、あらゆる教科・領域における小中学校の教育活動で、児童生徒が得られた知識をもとに、何ができるのか、自分で考え行動につながる実感がともなう食育活動を実現していくための一助となるよう、毎日の給食や家庭での食事で身近な食品「牛乳」を教材として活用し、実施するものである。

研修会で得られた授業指導案をはじめとする指導の工夫は、広く参加者並びに伝達講習によって提供された者も含めて活用を促進し、また J ミルクホームページでの活用促進も行う。

### 5. 内容

#### (1) 多様な視点で「教材」を捉えた指導計画作成

小中学校での教職員間の連携による食育を実現するうえで、栄養・社会、経済、環境とのかかわりを発達段階に応じて多様な視点で捉え教育活動で実践していくため、教育研究者による講演、酪農生産現場などの現場研修、資料を活用したグループでの研究討議から、学校内の教育プログラムの展開や、各授業の教材化についてのプロセスを学び、指導展開について考える機会とする。

指導計画の作成に当たっては、研修会に参加する他地域（他県）の教職員とのオンラインを活用した実際の授業連携など、学校課題や発達段階に合わせるとともに、教科等の連携も検討する。

## (2) 子どもの主体的な学びを実現するための食育授業実践

児童生徒の主体的な食の学び実現するため、学習者である児童・生徒の視点に立った授業の進め方の基礎・基本を習得し、効果的な指導について検討しながらグループ発表を通して、その実践的な指導能力を身に付ける。

### 【研修プログラム（案）】

	時間	内容（予定）	講師等
1 日 目	12:30～	受付開始	—
	13:00～ 13:40	開会・オリエンテーション アイスブレイク【牛乳の風味体験】	Jミルク
	13:40～ 14:25	WS① 教育プログラムの出口提案の具体例の体感	教育研究者
	14:25～ 15:05	講演① WS①振り返り及び学習活動の組み立て	教育研究者
	15:05～ 16:35	WS② 事前学習カリキュラムの検討	教育研究者 全学栄
	16:35～ 17:15	講演② 牛乳ができるまで	乳業メーカー —
2 日 目	A M	牧場体験・視察（移動を含む）	酪農家
	12:00～ 13:00	昼食休憩	—
	13:00～ 16:15	WS③ 事前学習カリキュラムの完成 13:00～14:30 プレ完成 14:30～15:25 発表@5分×5班 +講師講評 20分 15:25～16:15 完成	教育研究者 全学栄
	16:15～ 16:30	閉会	Jミルク

※研修会プログラムは現在講師等と調整中であるため内容の変更や時間が前後することがあります。後述の受講者への「研修会のご案内」の送付までに詳細を決定します。

## 6. 開催日及び日時

日時：2025年8月18日（月）～19日（火）二日間

受付開始 8月18日（月）12:30（予定）

閉会予定 8月19日（火）16:30（予定）

会場：学校法人 大妻学院 大妻女子大学 千代田キャンパス

〒102-8357 東京都千代田区三番町12番地

## 7. 対象者

一般教諭、栄養教諭・学校栄養職員、養護教諭、教育委員会指導主事など

①教育委員会または学校栄養士協議会の推薦（40名程度）

茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県

②個人による申し込み（10名程度）

全国の地域を対象

○定員 50名（①を優先の上②を決定）

## 8. 参加条件

①研修の結果や成果を、地域内で他の教諭や栄養教諭・学校栄養職員・養護教諭等に対し積極的に普及する意思や素養があると判断される方とします。

②研修会後、年度内の指定する時期までに食育指導を実施し、レポートを提出できる方とします。

## 9. 参加者登録（締切 2025年7月15日(火)）

### ① 各都道府県教育委員会による申込み

各県（都・道・府）基本4名とし、各県教育委員会できりまとめ参加申込み。

別紙「2025年度牛乳食育研修会参加者登録書」（または google フォーム【A】）に記入のうえ、「牛乳食育研修会事務局」あてにメールで連絡。

### ② 県学校栄養士協議会による申込み

各都道府県教育委員会による申し込みが難しい場合については、県学校栄養士協議会できりまとめ参加申込み。その場合、各県の参加者枠は上記「①」と同様。

別紙「2025年度牛乳食育研修会参加者登録書」（または google フォーム【A】）に記入のうえ、「牛乳食育研修会事務局」あてにメールで連絡。

なお①②による申し込みは、原則各県（都・道・府）最大4名、開催県は最大10名とする。都道府県教育委員会または都道府県学校栄養士協議会から最大数を超える要望があった場合は、協議して決定することとします。

### ③ 個人で受講を希望する学校関係者による申し込み（10名程度）

①または②の方法以外で、個人の責任において受講を希望する場合、個人用の申し込みフォームに直接申し込む。（①②を優先するため、申込超過の場合はお断りすることがあります。）

Google フォーム【A】（参加者登録フォーム）

<https://forms.gle/SDVyBJLbQya3Mzy48>



### ④参加者情報登録（締切 7月31日（木））

①～③の方法で参加登録した参加者は、個別に別途交通手段を含む参加者情報を google フォームに登録をお願いします。

Google フォーム【B】

（交通手段を含む参加者情報登録フォーム）

<https://forms.gle/yEMc6NMN2ZEY6uH67>



## 10. 受講者旅費等

受講者の在勤地からの交通費及び研修宿泊費（定額@11,000円）は、Jミルクの旅費規程に従って J ミルクが負担します。往復の交通及び宿泊場所は参加者ご自身でご手配ください。

## 11. 研修期間中の費用

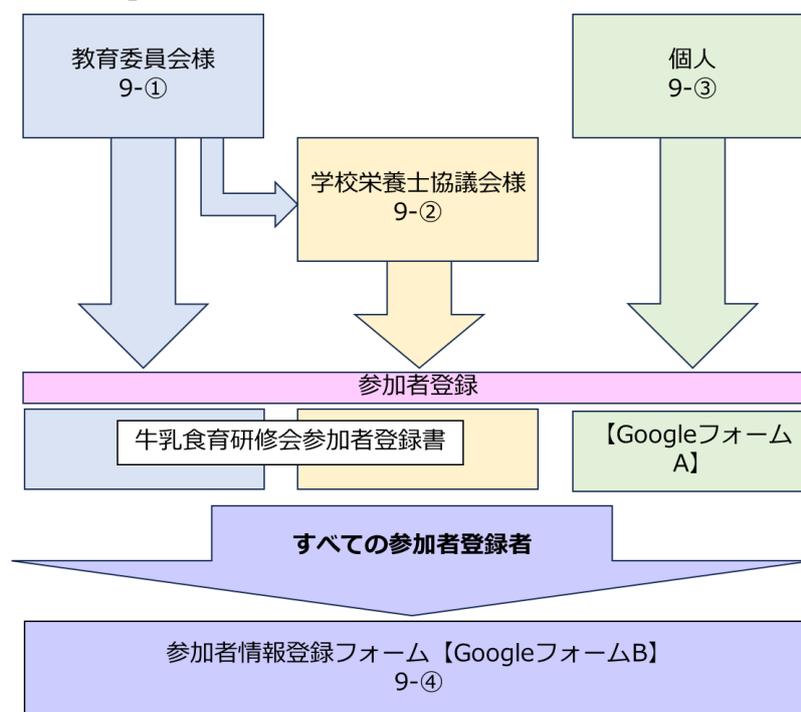
研修期間中の参加費（研修費）として1名3,000円（食事代に充当）、当日受付にて現金でお支払ください。領収書をお渡しいたします。

但し書きを変更する場合は、9-④の参加者情報登録の際に、その旨お知らせください。

## 12. その他

- 受講者には別途Jミルクより開催日の概ね1週間前までに「牛乳食育研修会のご案内」を直接メール案内します。また研修会で活用する目的で所属校の資料などをご持参いただく場合があります。ご協力をお願いいたします。
- 自己都合による前泊及び後泊は参加者各自で手配し、費用は自己負担とします。
- 牧場の現地研修では、過去1週間以内に海外から入国あるいは帰国された方の牧場への立ち入りはできません。あらかじめご承知ください。
- 研修会を安全に実施するため、Jミルクが滞在中の団体旅行保険に加入します。ただし在勤地から研修会場の往復の移動は保険に含まないので参加者は必要に応じて各自自己負担にて旅行傷害保険に加入をお願いいたします。
- 自家用車での参加は原則不可となっています。自家用車で参加する場合、駐車場代や高速料金のお支払いはできません。公共交通機関を活用した場合の経路での交通費計算となり、その額のお支払いになります。
- 9-①②による参加申し込みは、申し込みの時点で参加者の確定といたします。定員以上の申し込みを希望する場合は、事前にご相談ください。

### 【参加登録フロー】



以上